

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

工学部・研究科 電気システム工学科・課程・専攻 2年（峯野 夢絃）

○派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

○派遣期間： 2018年 2月 13日 ～ 2018年 3月 19日

○渡航時の学年： 2年次

○渡日前の手續について

・参加に至った経緯について：

海外に興味があり、英語圏に行って生活に触れてみたかった。

・渡航に関する手續について：

参加の申し込み手続き、海外旅行保険の申し込み手続き、パスポート作成の手續き

・査証取得：

なし

★体験記：

○生活費：

航空券代金が往復で18万円、海外旅行保険が1万5千円、授業料とホームステイ代金が29万円、食費で1万円程度使いました。

○ホームステイ先の環境：

ホームステイ先の家族構成は母親と17歳の息子と15歳の娘の3人でした。母親と息子は働いていて母親は忙しいなか晩ご飯を作ってくれたり、学校に持って行くサンドウィッチの準備をしてくれたりしました。朝ごはんは食パンかシリアルとミルク、昼ご飯はサンドウィッチと果物、晩ご飯はその日によって異なりましたが牛肉や鶏肉、そしてラム肉など肉料理が多かったです。洗濯は洗濯機の使い方を教わり自分で行いました。シャワーは30分以内で済ませるように言われました。家にはWi-Fiがありとても役立ちました。

最初にホストマザーからキッチンやシャワーやトイレ、Wi-Fiなどの使い方の説明があったので特に家の中にいて困ることはありませんでした。

○大学のサポート状況：

スタッフさんはとても丁寧に対応してくれました。日本人のスタッフさんもいて英語での質問が難しかった時に頼ることができ、とても助かりました。

○授業の様子：

最初にテストを受け、テストの結果でクラスが分けられました。

授業ではグループやペアになって取り組むことが多かったです。

○他の留学生たちの様子：

留学生は日本人や中国人が多かったです。とてもフレンドリーな人がばかりでした。中には20～30人程度の団体にきている日本の大学もありました。同じ日本といっても九州から北海道まで全国各地から来ていて、外国の友達だけではなく普段あまり交流のない東北や北海道の友達をつくることができました。

○現地学生との交流：

授業や普段の学校生活での現地学生との交流はあまりありませんでしたが、放課後ランゲージセンターに隣接する運動施設で一緒にバレーやバドミントンをしました。

～宮大生のための海外渡航～

運動施設にはジムがあり、たくさんの学生が利用していました。

○街の様子:

ランゲージセンターのすぐそばにはお店はありませんでしたが、ランゲージセンターから歩いて15～20分程度の場所にダニーデンで最も栄えている通りがあったのでそこでよく買い物をしました。飲食店は遅くまで営業しているところもありましたが、その他のお店はだいたい午後5時～5時半くらいには閉まっていました。

○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

日本の夏の終わりくらいの気温だと聞いていたので半袖の服ばかりを持って行っていましたが、天候の悪い日や朝晩はけっこう冷えることもあり自分はニュージーランドで長袖の服を何着か購入したので半袖の服ばかりではなく上に羽織れる上着などもいくつか持って行くことをおすすめします。

